

4月11日～12日 議員福祉セミナーに参加

滋賀県の研修施設で議員福祉セミナーに個人で参加。

- 兵庫県播磨町長「子育て支援」講演
子育てに喜びを実感出来るまちづくりの実践
- 「児童虐待」の理解と課題
児童虐待の実態と社会の取り組み方を考えました。
- 「障がいのある方との共生」
障害を理解し社会で共にあたりまえに生活するまちづくり
福祉のまちづくりを考える上で大変勉強になり
ここで学んだ事を6月議会で質問しました。

11:00～	入場受付・昼食	研修の内容及び目標
13:00～	開講・日程説明	
13:15～14:45	これからの日本の福祉	筑波大学名誉教授 一橋 光徳氏
15:00～16:30	今の子どもに必要なたとえ	～児童虐待問題から～ 筑波大学名誉教授 加藤 輝子氏
16:30～	施設オリエンテーション	
17:30～	交流会	
9:00～10:30	共に生きるまちづくり～障がいのある人達の働きや暮らしを軸にした助け合い支え合い活動～	筑波大学名誉教授 眞口 弘氏
10:45～12:15	いのちを育む まちづくり～播磨町の子育て支援～	筑波大学名誉教授 清水 ひろ子氏
12:15～12:30	閉講・事務連絡	
12:30～	昼食後退席	

5月20日～22日 教育福祉常任委員会 視察研修（関西方面）

- 「いじめ防止条例」を制定した大津市を視察、学習・意見交換
いじめ事件後、学校職員を増員し細やかな授業とカウンセリングを行なっている
- 「発達支援システム」を実施している湖南省市を視察、学習・意見交換
家庭や地域の理解を通じ、子どもの小さな時からの発達障害への気づきを大切にし対応、また地域企業の障害者への理解から毎年数社で15名が一般就労している。
- 「いじめ等防止条例」制定している小野市を視察、学習・意見交換
子どものいじめ他、男女共同参画、DV、高齢者、障害者を含めた条例施行条例によっての市民の意識改革「大人が変われば子どもが変わる！」
子どもから大人までの理解教育を市が実施 大人が子どもを見守る事を義務化！
- 京田辺市の「老人福祉センター・児童館複合施設」の視察
中庭をはさんで老人施設と児童館が作られ、行き来が自由で自然な形での交流が見られた。（共に施設利用料は無料）



市民の皆様のお声をお聞かせ下さい

皆様から頂いたご意見を、小さな事でも出来る事から行なっています。



その他に「消防・防災」「歩道整備」「古墳群整備」「学校給食」「環境」「高齢者福祉」「いじめ防止」「福祉教育」「ボランティア支援」などにも現在取り組んでいます！

田中さくじろう事務所 〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@e-mail.jp HP http://3926jp.net/



平成 25 年 7 月号

能美市議会議員

「絆きずな」～能美市政報告～



6月議会 一般質問

- 子育て支援について 子育て支援センターについて 等
 - 男女共同参画について 女性委員の推進・育児休暇 等
 - 地域防災体制について 防災士の地位確立を・女性の防災役割 等
- （詳細は2ページ3ページに記載）

一人会派「絆きずな」

議会事務局のはからいで6人の大部屋から橋本議員との二人部屋にお引越し。
狭いながらも気楽な部屋です。
皆様も議会にお越しの際は、一度のぞいて見て下さい☆



4月 広報特別委員会

議会広報誌「のみだより」ご覧になりましたでしょうか？
質問議員が原稿を書き3回の編集委員会を経て作成しています。

Q 九谷焼産地を能美市の観光資源として発信を
能美市には様々な九谷焼の施設や業者があり、有力な観光資源。

A 九谷焼産地を能美市の観光資源として発信を
能美市には様々な九谷焼の施設や業者があり、有力な観光資源。

Q 行政と町会の連携した防災訓練と地域防災力の支援を
町会は災害時の対応に課題を抱えている。行政と町会が連携した防災訓練を実施し、町会が取り組みやすい訓練の提案と災害時に頼れる人材となる防災士の支援を求める。

A 町会と町会の連携した防災訓練と地域防災力の支援を
町会は災害時の対応に課題を抱えている。行政と町会が連携した防災訓練を実施し、町会が取り組みやすい訓練の提案と災害時に頼れる人材となる防災士の支援を求める。

Q まちづくり推進にボランティア団体との連携を
これまで長い間活動を行っていたボランティア団体にも目を向ける新しい団体支援と地域を支える団体との連携が必要。

A まちづくり推進にボランティア団体との連携を
これまで長い間活動を行っていたボランティア団体にも目を向ける新しい団体支援と地域を支える団体との連携が必要。

田中策次郎 議員

防災・減災対策と自主防災組織や防災士への育成支援を

戦略的に市のホームページで紹介していく(市民生活部長)

特定の作家・作品等は著作権の問題もあり難しいが、組合のアドレスをリンクさせPRに努める。

九谷焼関連情報を集約し、市のホームページから提供できないか。能美市観光として提案し辰口温泉や周辺のにぎわいにつなげよ。

能美市議会広報誌

のみだより 2013 36号

●平成25年度当初予算案を可決
●一般質問に一同一答式を導入

発行部数 2,000部
発行時期 毎月15日発行
発行場所 能美市議会事務局
発行費(印刷) 1部100円

3月議会で質問させて頂いた「防災のマニュアル化と支援」「九谷焼観光 PR」「まちづくりへのボランティア連携」は実施または取り組みが進んでいます。



1 子育て支援について

① 子育て中の方の公共施設等利用の利便性は？

市役所の窓口の前に待ち時間**子供が遊べるキッズスペース**や**公園のトイレにオムツ替えの台**や**授乳場所**など公的施設で子育てに配慮した設備を望む。
また**子育て安心ポイント**を示した市内地図を作り、子育て中の方が気軽に外出できる環境作りを求める。

市長 キッズスペースを前向きに考える。子育て設備の整備も「子育てに優しい地域」としてアピールする良い提案であり、子育て世代の多く利用する施設から取り組む。子育てに便利な地図作りも施設整備が進んだ段階で作成に対応していく。

② 新しく作られる「子育て支援センター」は、子育て中の方や子育て支援団体がどのように利用出来る計画なのか？ 子育て支援団体に育成・支援は？

子育て中の方々がどうしが気軽に話が出来るところが必要だと思います。
子育て中の方々がいつでも利用できる常設の居場所作りが求められ
その中でスタッフや子育て中の方々と話す事によって日常的な
ちょっとした悩みや問題が解決出来る場所になると思います。
支援する子育て団体にも使いやすい場所や市の育成・支援が求められます。

健康福祉部長 土曜も開館し気軽に利用しやすい交流スペースや会議室を確保。

③ 子育て支援センターの建設にあたり現場スタッフや利用者のアイデアを取り入れていく予定はあるのか？

「**市民団体**」と「**利用する子育て中の方の思い**」と「**行政**」の良い所を活かせるような子育て支援センター作りが望まれます。
市民が望む施設を市民と市と一緒に作り上げるべきだと思います。
子育て支援団体が関わる事により市との係わりも、これまで以上に強くなり
「子育て支援センター」運営や維持にも責任感を持ち、力になると思います。

健康福祉部長 子育て中の利用者やサークルの皆さんと検討会を設けて考えていく。

2 能美市の男女共同参画の推進状況は

④ 審議会の女性委員の推進や町会の女性役員起用に市の支援が必要

「**庁内の関係各課と連携を図り**」市の各課が男女共同参画を理解し支援しながら進める必要があるのでは？

市長 関係各課が審議会等の女性委員の登用を推進する周知徹底をはかる。
町会にも啓発をし女性の役員参画を進めて頂けるようお願いする。



⑤ 市職員の育児休業取得の男女数は？

育児休業を取得し復帰後も安心して仕事出来る職場環境が出来ているのか？
関わる人の意識が変わらなければ難しく思います。

「**女性が輝く日本**」が経済の成長戦略と現政権も打ち出しています。
民間の手本となるべく市の職員は育児休業が取得しやすい環境にあるのか？

総務部長 女性 33 名・男性 1 名、育児休業を取得しやすい環境づくりに努めている。

⑥ 男性の育児参加出来るような市の取り組みは？

男性の育児参加が容易に出来る職場・地域等への環境整備の働き掛けが必要だと思います。

市民生活部長 個人レベルから家庭参加の啓発活動を行ない、のちに企業へと働き掛けたい

3 地域防災体制について

⑦ 町会の中での防災士の地位の確立を出来ないか

町会によっては防災士が自主防災組織に所属していない場合もあり
各町での役割りを市が促す事が地域防災にとっては大切な事だと考えます。
防災士と地域のつながりを作り地域防災力の向上につなげるべきだと考える。

総務部長 防災啓発活動を通し防災士の重要性必要性が認識され地位が確立されると考える

⑧ 防災組織に女性役員の起用を

東日本大震災の調査から、災害発生時において女性は家族や近所の人等、周囲の声掛けにより情報を入手し複数人で避難をするなど**男性と比べて地域の人のつながりが強く重要な立場である**事が分かりました。
各町において防災組織役員としての起用が必要だと思われます。
女性を起用しながら避難所運営訓練の実施の検討をお願いする。

総務部長 町会に対し 2 人目以降の防災士は女性の起用を求めている。
避難所運営や備蓄品など女性の観点から防災対策が出来ると考えている。

人の尊厳と思いやりの心について

今回、子育てや女性の問題について多く質問させて頂きましたが女性にしか出来ない事、男性にしか出来ない事も確かにあります。
しかし、個々が人として望む事があれば**性別を理由として阻害する事は許されない**と思います。

女性、男性、子ども、高齢者など色々な方が能美市の中で生活しています。
すべての人が心豊かに生きるために、人としての尊厳を大事にしながらお互いを思いやり生きる事が大切だと思います。

力のある者が弱い者を守るのが当たり前となるような能美市を地域や家庭と学校教育で進め、住みよい能美市になる事を願い質問を終わります。